

藤原ひろき

県政レポート

2014年春号(予算)

動!



愛知県 平成26年度 一般会計当初予算 2兆3,618億円

平成26年度の愛知県一般会計当初予算が、2月定例議会に提出可決されました。予算規模はH25年度当初比6.0%増となる2兆3,618億円。

誰もが夢と希望を抱き、活躍できる社会づくりなどに取り組むため、「7つの柱」の施策を重点に予算編成が行われた。

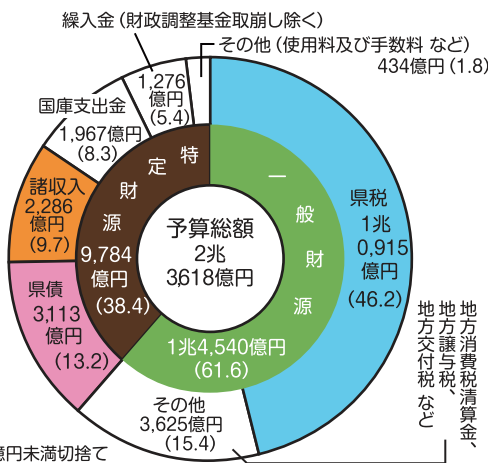
歳入では、明るい兆しが見えてきた経済情勢のもとで県税収入は19.1%増と、6年ぶりに1兆円を超える見込み。輸出環境の改善から、法人2税は45.1%増の回復。一方、公債費や医療・介護など義務的経費の増加により、財源対策として減債基金の取り崩しなどで対応するが、職員の給与カットを管理職以上で継続せざるを得なくなった。

歳出では、公共事業などの投資的経費が10.8% (242億円) の増。なかでも県単独事業は、安心・安全につながる社会資本整備を積極的に進めることとし、20.6% (169億円) 増と大きく伸びた。

予算編成「7つの柱」

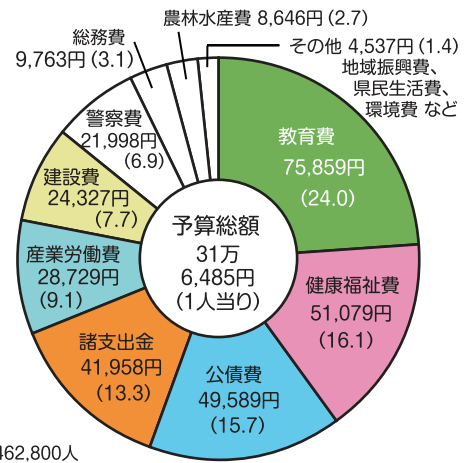
- ① 元気な経済・産業・地域づくり
- ② 安全で災害に強い地域づくり
- ③ 環境首都あいちづくり
- ④ 安心できる健康・医療・福祉社会づくり
- ⑤ 教育・文化立県あいちづくり
- ⑥ 地域の潜在力を引き出す社会基盤づくり
- ⑦ 自立・分権・協働の行財政体制づくり

歳入の内訳 (一般会計)



※金額表記は億円未満切捨て

歳出の目的別内訳 (一般会計)



※平成25年3月31日時点
住民基本台帳人口 7,462,800人

平成26年度 愛知県予算 主な事業 (新規を中心に抜粋) 金額表記は、万円未満を切り捨て

- 自転車安全技術推進事業 (新規) 540万円
・ 車間距離や車線の感知など
- 交通事故死ワースト返上へ 176億5,861万円
・ 交通安全施設の整備
- 私学助成 593億余円
高校授業料軽減補助 (H26入学生から1人あたり年額)
年収350万未満世帯39万4,800円 (前年比 3,600円増)
幼稚園授業料軽減
年収680万未満世帯 第三子以降の満3歳児の授業料等無料化

裏面へ続く

藤原ひろき政策

政治は、誰がやっても同じではありません!

藤原宏樹

みなさまの声を
ぜひお聞かせください

お問い合わせ

藤原ひろき事務所

事務所の場所が変わりました

〒442-0857 愛知県豊川市八幡町横道93-1
TEL (0533) 56-8338 FAX (0533) 56-8321 E-mail: toyokawa_hiroki@yahoo.co.jp
県議会議員 藤原ひろきオフィシャルウェブサイト <http://fujiwarahiroki.com/>

● 少花粉スギ供給推進事業（新規） 805万円

- ・花粉の少ない「あいちニコ杉」の採種園の造成
- ・花粉量は一般杉の1%程度

● ESDユネスコ世界会議支援 2億8,935万円

- ・開催支援負担金

持続可能な開発のための教育（ESD）に関する
ユネスコ世界会議の概略

主催／ユネスコ、日本政府
期間／平成26年11月10日～13日
場所／名古屋国際会議場
規模／各国閣僚・政府関係者など約千名、関係者数千名

● 住宅・建築物の耐震化を促進 7億2,143万円

- ・住宅の耐震改修費補助
- ・建築物の耐震診断費補助（拡充）

● 雇用対策の推進 62億3,182万円

- ・公共職業訓練
- ・緊急雇用創出事業基金の活用

● 女性の活躍促進への取り組み（新規）1,564万円

- ・女性の活躍状況「見える化」事業
- ・女性管理職養成セミナー

● 妊娠を希望する女性への風しん対策 1,768万円

- ・風しん抗体検査の実施（新規）
- ・ワクチン接種費補助

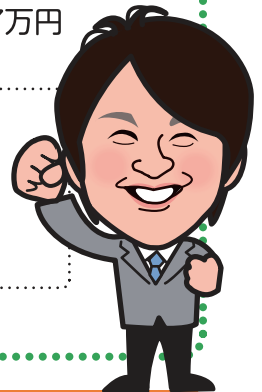
● 地域医療の再生への取組 30億3,822万円

- ・医師育成・派遣
- ・小児・周産期等医療

● 地域包括ケアの推進 4,837万円

- ・地域包括ケア モデル事業の実施

地域包括ケアシステムとは
高齢者が住み慣れた地域で安心して
暮らすことができるよう、
医療・介護・予防・生活支援・住まいを
一体的に提供する仕組み。



平成26年度 2月県議会議案質疑 質問「豊川用水二期事業について」



質問：大規模地震対策の進捗状況と今後の見通しについて

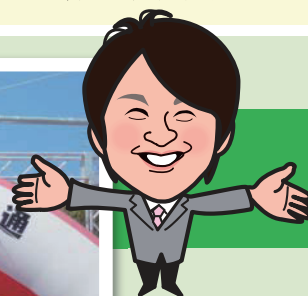
答弁：大規模地震対策は平成19年度から平成27年度の工期で、幹線水路の耐震性不足区間1.6km及び渥美半島初立地の耐震補強工事を進め、本年度末で72%の進捗。
今後の見通し、主要工事は本年度末で発注済、27年度完了の計画。

質問：大規模地震対策は東日本大震災以前に計画、今回の大震災を踏まえた検討について

答弁：平成19年度当時、固い岩盤の中にあるトンネルは耐震性の問題はなしとされていたが、水資源機構は岩盤内のトンネル区間36kmについても耐震性を検証するため、地質ボーリングなどの基礎的調査を推進中。来年度結論が出る予定。

質問：豊川用水における小水力発電の取組について

答弁：水資源機構は、豊川用水のダム、幹線水路など19ヶ所の候補地を選定・検討した結果、5ヶ所で小水力発電施設を設置する方針。27年度から一部発電開始見込み。



国道23号線
蒲郡バイパス一部開通

蒲郡ICから幸田芦谷IC（5.9km）
平成26年3月23日16:00～供用開始。
新たに「蒲郡IC」「蒲郡西IC」を設置。
残りは蒲郡IC～豊川為当IC間、9.1km
のみとなりました。